

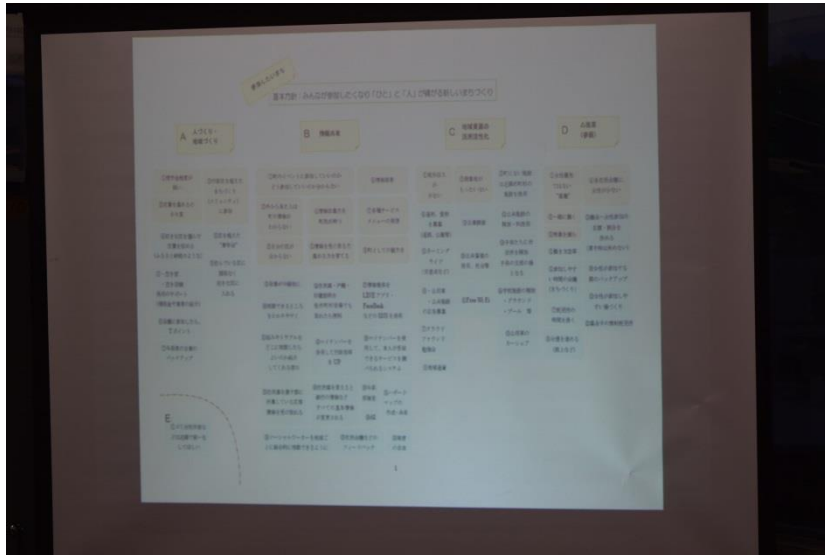
第5次与那原町総合計画策定住民会議
第3回総務財政部会（概要）

日時：平成30年6月21日（木） 19時～

場所：与那原町役場 会議室（2F）

参加者数：10名（委員6名、事務局4名）

1. 前回の振り返り
 2. 発表用原稿作成
 - ・19時20分～20時35分
 3. その他
 - ・今回作成した次回全体会に向けた発表資料の修正については、部会長、副部会長調整とする
- 添付資料
- ・第2回総務部会まとめ



参加したいまち

基本方針：みんなが参加したくなり「ひと」と「人」が綱がる新しいまちづくり

A 人づくり・地域づくり

- ①奨学金制度が弱い
- ②区費を集めるのが大変
- ③行政区を超えたまちづくり(コミュニティ)に参加
- ④好きな区を選んで区費を収める(ふるさと納税のような)
- ⑤好きな区を超えた“青年会”
- ⑥・空き家・空き店舗活用のサポート(補助金や業者の紹介)
- ⑦住んでいる区に関係なく好きな区に入れる
- ⑧会議に参加したら、Tポイント
- ⑨与那原の企業のバックアップ

B 情報共有

- ①町のイベントに参加していいのかわからない
- ②外から来た人は町の情報がわからない
- ③自分の区がわからない
- ④役場が中継役に
- ⑤相談できるところをわかりやすく
- ⑥悩みやトラブルをどこに相談したらよいか紹介してくれる窓口
- ⑦住民票を渡す際に所属している区等情報を受け取れる
- ⑧情報弱者
- ⑨情報収集力が町民を持つ
- ⑩情報を受け取る力集める力を育てる
- ⑪住民票・戸籍・印鑑証明を他市町村役場でも取れたら便利
- ⑫マイナンバーを活用して行政効率をUP
- ⑬住民票を変えると銀行の情報などすべての基本情報変更される
- ⑭各種サービスメニューの発信
- ⑮町としての魅力を
- ⑯情報提供をLINEアプリ・FaceBookなどのSNSを活用
- ⑰マイナンバーを使用して、本人が受給できるサービスを調べられるシステム
- ⑱与那原検定
- ⑲AI
- ⑳ソーシャルワーカーを地域ごとに総合的に相談できるように
- ㉑住民会議などのフィードバック
- ㉒発言の自由

C 地域資源の活用活性化

- ①税外収入が少ない
- ②商業地がもっていない
- ③町にない施設は近隣市町村の施設を活用
- ④通称、愛称を募集(道路、公園等)
- ⑤企業誘致
- ⑥公共施設の解放・利活用
- ⑦ネーミングライツ(交差点など)
- ⑧公共資産の活用、処分等
- ⑨子供たちに市役所を開放子供の交流の場となる
- ⑩学校施設の解放・グラウンド・プール等
- ⑪Free Wi-Fi
- ⑫公用車・公共施設の広告募集
- ⑬クラウドファウンド勉強会
- ⑭地域通貨
- ⑮公用車のカーシェア

D △改革(参画)

- ①女性優先ではない“協働”
- ②一緒に働く
- ③残業を減らす
- ④働き方改革
- ⑤参加しやすい時間の会議(まちづくり)
- ⑥託児所の時間を長く
- ⑦分煙を進める(路上など)
- ⑧各住民会議に女性が少ない
- ⑨議会へ女性参加の目標・割合を決める(席や枠は決めない)
- ⑩女性が参加する際のバックアップ
- ⑪女性が参加しやすい場づくり
- ⑫集会中の無料託児所

E

- ①ゴミ分別方法などは近隣で統一化してほしい